

令和5年度 事業報告書

特別養護老人ホーム貴志川聖アンナの家
聖アンナショートステイサービス

令和5年度 事業報告

《目標額及び達成額》

特別養護老人ホーム貴志川聖アンナの家 入所定員 50名

目標額 196,000,000 円

達成額 192,693,070 円 達成率 **98.3%**

聖アンナショートステイサービス 入所定員 10名

目標額 36,300,000 円

達成額 38,785,363 円 達成率 **107%**

合計 目標額 232,300,000 円

達成額 231,478,433 円 達成率 **99.6%**

【目標達成について】

特養、ショートを合わせるとほぼ想定通りの結果となった。

ただ、入所申込の件数は年々減少傾向であり、近隣施設の競合など入所者の確保が難しくなっている。

新規相談の依頼は医療機関から在宅復帰せずに施設入所を希望される方がほとんどである。

特 養

(令和5年4月～令和6年3月)

月別利用人数

資料1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	15	15	17	17	16	15	16	15	13	10	9	11	169
女	34	35	34	35	35	33	36	36	41	41	38	39	437
合計	49	50	51	52	51	48	52	51	54	51	47	50	606

要介護度別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	8
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	6	5	5	6	8	6	6	5	7	8	6	9	77
要介護4	30	29	29	27	27	26	29	27	29	28	29	32	342
要介護5	12	15	16	18	15	15	16	18	18	15	12	9	179
合計	49	50	51	52	51	48	52	51	54	51	47	50	606

月別利用日数・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	1455	1501	1440	1464	1427	1343	1502	1495	1472	1493	1264	1370	17226
稼働率	97.0%	96.8%	96.0%	94.4%	92.0%	89.5%	96.9%	99.6%	94.9%	96.3%	87.1%	88.3%	94.1%

月別目標達成率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
稼働率	90.0%	85.0%	88.2%	89.8%	92.5%	96.6%	100.7%	99.4%	101.6%	103.7%	95.9%	95.0%

月別入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	5	5	5	0	3	6	4	2	2	0	2	4	38
退所	4	4	0	2	1	5	3	2	2	1	2	4	30

シヨート

(令和5年4月～令和6年3月)

月別利用人数

資料2

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	5	5	7	4	4	3	2	2	1	3	6	7	49
女	8	7	9	10	16	17	15	11	13	11	9	12	138
合計	13	12	16	14	20	20	17	13	14	14	15	19	187

要介護度別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援・他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	1	1	1	2	1	0	1	0	1	0	8
要介護2	1	2	1	1	3	1	2	2	3	3	1	1	21
要介護3	4	4	5	6	5	5	4	5	5	8	10	5	66
要介護4	5	4	5	4	6	7	7	3	3	2	2	4	52
要介護5	3	2	4	2	5	5	3	3	2	1	1	2	33
合計	13	12	16	14	20	20	17	13	14	14	15	12	180

月別利用日数・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	270	285	308	314	360	329	249	268	257	300	297	276	3513
稼働率	90.0%	91.9%	102.6%	101.2%	116.1%	109.6%	80.3%	89.3%	82.9%	96.7%	102.4%	89.0%	96.2%

令和5年度 事業報告書

聖アンナケアプランセンター

令和5年度実績

目標額 = 58,534,200円

実績 = 53,706,730円

差 -4,827,470円

達成率 = 91.8%

○ 実績について

介護請求 2976件 予防請求 310件 認定調査 20件
新規相談 95件 ケアマネジャー1人当たり月平均担当件数 22.5件
介護3～5のⅡ型割合 全月50%以上で推移

令和5年度の目標額に対して達成率91.8%となり達成できなかった。原因を分析してみると、新規相談はR4年79件→R5年95件へと増加しているが、相談内容が多岐に渡り、サービス利用に繋がらないケースも多かった。また在宅で亡くなる方もR4年44名→R5年55名と増えており、末期がんターミナルケアのケースも増加している。さらに特養入所までの期間が短くなっている現状や、近隣の特養や老健、ショートステイの空床も前年度に比べ目立っている。介護3～5の利用者が過半数を占めているので、特養入所が進むと収入増が難しい現状にある。自法人特養の入退所を見ても、10月より聖アンナの家の入所人数が増加しているため、それに伴い居宅も10月から件数の落ち込み幅が大きくなっている。寒くなると様々な理由で入所が進み、それに伴い居宅の件数・収入減に繋がっていると言える。新規相談は積極的に受けているが、これらの様々な要因が重なり、結果的に目標額達成できず、事業所全体での件数は数字上余力が残っている状態である。

○ 事業運営について

介護保険制度を始めとした制度の動向に注視し、職員への法令遵守の周知やコンプライアンス意識を持った指導を随時実施した。また、研修への参加を促し知識のアップデートを図ることで、適切かつ安定的な事業運営を実施することができた。R5.5月には運営指導を受け細かな改善指導はあったものの、加算の返還などはなく、適切な運営を実施していると高齢介護課より太鼓判を頂いた。職員に関しては、一人一人の能力やキャパシティに応じ仕事の割り振りを行い、個別案件のフォローや相談を随時実施することで業務量過多にならないよう配慮した。必要に応じ勤務変更やテレワークの活用、残業の解消を行い、ワークライフバランスに配慮した結果、職員の離職なく働きやすい環境の提供と安定的な運営ができた。R6.2月事務所移転に伴い、事業所には少なからずご迷惑をおかけしたが、大きな支障なくスムーズに業務を開始することができた。

○ 具体的な取り組みの結果について

1. 各種研修に参加し、常に新しく正しい情報の収集を行い、介護支援専門員としての専門性を高める。また他法人が運営する居宅介護支援事業所と共同で事例検討会、研修会を計画し開催する。

→法廷研修は必ず受講できるよう配慮した。自治体や病院主催の各研修に関しては、基本的に業務優先であるが、自己研鑽や知識のアップデートのため、随時参加を募りできる限り参加して頂いた。他法人運営の事例検討会も11月に参加し、特定事業所加算の算定要件の一つを満たしている。R6年度は聖アンナ主催で事例検討会を開催予定。
2. 地域包括支援センターおよび他の関係機関との連絡、情報交換を密にし、利用者に不利益や損害を与えないよう努める

→各関係機関との連絡・連携・情報共有は随時行い信頼関係を構築しています。個々のケースに関して、利用者により良い支援ができるよう、随時相談やフォローしています。
3. 事業所が抱えている課題について協議し、事業改善を図る。

→R6.3に1名定年退職を迎え新年度はケアマネジャー10名体制での運営。今後定年退職を迎えるケアマネジャーもおり、新たな職員獲得が課題だが抜本的な解決には至っていないのが現状。業務改善に関しては、リモートワークの活用やズーム・チームスの活用で業務改善を積極的に図った。
4. 対人援助技術を向上し、利用者の生活全体を見据えたアセスメントで課題を明らかにし、利用者主体のケアプラン作成を行う。

→事業所内研修にバイスティックの7原則を取り入れ対人援助技術を取り入れたり、コミュニケーション技術の研修を取り入れ、専門性の向上を図った。
5. サービス提供事業所との連携を図り、情報の共有、統一した対応を行う。

→計画書に位置付けたサービス事業所との連携は、報告書のやり取りや電話でのリアルタイムでの情報共有を常時行っており、利用者により良い支援を提供するようにしている。

※介護給付の部

その他の地域単位 10.00 計算

	介護給付内訳			加算内訳												月請求金額	月遅れ件数	月遅れ請求	返礼調整額	合計請求金額		
	I型	II型	II型割合	特事I	初回	退院連携1イ	退院連携1ロ	退院連携1エ	退院連携1コ	入院連携1	入院連携2	通院時連携	ターミナル									
	1076単位	1398単位		505単位	300単位	450単位	600単位	600単位	750単位	200単位	100単位	50単位	400単位									
4月	261	128	131	50.58%	259	10	0											¥4,548,610	2	¥44,060	¥18,810	¥4,571,670
5月	260	128	129	50.19%	257	3	3											¥4,503,050	3	¥64,370	¥18,810	¥4,548,610
6月	264	125	130	50.98%	255	4	0											¥4,464,150	9	¥185,830	¥59,870	¥4,590,110
7月	260	124	131	51.37%	255	4	1											¥4,471,870	5	¥106,930	¥18,810	¥4,559,990
8月	256	116	134	53.60%	250	6	1											¥4,410,980	6	¥117,520	¥18,810	¥4,509,690
9月	261	122	130	51.59%	252	10	1											¥4,441,720	9	¥169,950	¥56,650	¥4,555,020
10月	245	118	126	51.64%	244	4	0											¥4,285,860	1	¥22,030	¥0	¥4,307,890
11月	239	112	123	52.34%	235	5	2											¥4,139,910	4	¥75,680	¥31,620	¥4,183,970
12月	230	112	116	50.88%	228	7	2											¥4,012,200	2	¥40,840	¥0	¥4,053,040
1月	242	111	121	52.16%	232	11	2											¥4,109,040	10	¥200,140	¥34,620	¥4,274,560
2月	227	105	119	53.13%	224	6	0											¥3,946,120	3	¥56,870	¥0	¥4,002,990
3月	231	106	119	52.89%	225	5	0											¥3,960,430	6	¥119,960	¥0	¥4,080,390
計	2976	1407	1509		2916	75	12	0	0	0	22	6	8	0	0	0		¥51,293,940	60	¥1,204,180		¥52,237,930

※委託事業の部

	予防支援及びケアマネシメントA	初回 300単位	予防請求額 438単位	認定調査件数	調査請求額 ¥3,300	月請求金額			介護給付+委託事業 合計金額
5月	26	1	¥116,880	0	¥0	¥116,880		5月	¥4,665,490
6月	26	2	¥119,880	0	¥0	¥119,880		6月	¥4,709,990
7月	25	1	¥112,500	0	¥0	¥112,500		7月	¥4,672,490
8月	24	2	¥111,120	1	¥3,300	¥114,420		8月	¥4,624,110
9月	25	1	¥112,500	0	¥0	¥112,500		9月	¥4,667,520
10月	26	2	¥119,880	1	¥3,300	¥123,180		10月	¥4,431,070
11月	25	1	¥112,500	3	¥9,900	¥122,400		11月	¥4,306,370
12月	25	0	¥109,500	8	¥26,400	¥135,900		12月	¥4,188,940
1月	28	3	¥131,640	3	¥9,900	¥141,540		1月	¥4,416,100
2月	27	1	¥121,260	1	¥3,300	¥124,560		2月	¥4,127,550
3月	29	1	¥130,020	3	¥9,900	¥139,920		3月	¥4,220,310
計	310	15	¥1,402,800	20	¥66,000	¥1,468,800			

介護+委託 年度総合計
¥53,706,730

※月別目標額

	月別目標	実績	目標 - 実績
4月	¥4,767,180	¥4,676,790	¥-90,390
5月	¥4,767,180	¥4,665,490	¥-101,690
6月	¥4,767,180	¥4,709,990	¥-57,190
7月	¥4,767,180	¥4,672,490	¥-94,690
8月	¥4,767,180	¥4,624,110	¥-143,070
9月	¥4,767,180	¥4,667,520	¥-99,660
10月	¥4,988,520	¥4,431,070	¥-557,450
11月	¥4,988,520	¥4,306,370	¥-682,150
12月	¥4,988,520	¥4,188,940	¥-799,580
1月	¥4,988,520	¥4,416,100	¥-572,420
2月	¥4,988,520	¥4,127,550	¥-860,970
3月	¥4,988,520	¥4,220,310	¥-768,210
合計	¥58,534,200	¥53,706,730	¥-4,827,470

達成率
91.75%

令和5年度 事業報告書

聖アンナ訪問看護ステーション

聖アンナ訪問看護ステーション 事業報告書

1.令和5年度目標額 75,720,000

2.令和5年度達成額 71,189,446

3.目標達成に至った理由について

- ・看護職員数減少のなか、常勤職員4名・非常勤職員4名で対応。月訪問件数760～900件平均にそのうち夜間帯の緊急訪問への対応が迅速に対応できたことが要因と考えられる。
- ・医療訪問件数の増加とショートステイ・デイサービスへの医療連携サービスの充実・デイサービスへの緊急時対応もできた。
- ・主治医の緊急依頼にも対応
- ・介護保険対象者への軽度からのサービス利用により病状の悪化時に対応できたことも良かった点である
- ・グループホームへの医療連携やデイサービスへの支援協力により、利用者様との連携を密にできた良かった点である。
- ・コロナ感染者への対応がスムーズに出来た。
- ・自費訪問の対応

4.事業計画の実施について

- ・これからの方向性は医療従事者と利用者様・家族様の双方に医療とは両者の共同作業であるという視点に立ちケアを行う
 - ・住み慣れた地域でその人らしく生活し、希望する生き方を選択し在宅での看取りが選べるようにする
 - ・個人の尊厳の保持を支えていく
 - ・地域に密着した事業所であることを基本とし社会資源の活用等のアドバイスを実施
 - ・居宅介護支援事業所や高齢者住宅への訪問、医療連携事業の強化
- 以上のことを踏まえ、引き続き下記計画に沿って業務を実施。選ばれるステーションを目指す。
- ・訪問看護の更なる普及を目指す。
 - ・多様な在宅医療ニーズに対応できるように専門性の深化に努める。
 - ・個別ニーズに対応する為利用者様の声に耳を傾け次のサービスへの展開を念頭に置く。
 - ・新規利用者さまの獲得に向け、PR活動の強化。
 - ・在宅診療に熱心な主治医との連携強化。
 - ・研修への積極的参加により質の向上を図る。
 - ・新規採用職員の教育により質の向上を図るとともに意欲ある優秀な人材育成に努める。
 - ・ショートステイ中の方や小規模多機能型通所介護との連携を深め利用者獲得を図る。
 - ・他職種との連携強化→聖アンナ訪問看護の認知度を高める。
 - ・緊急時や夜間帯の対応の強化を図り、加算を確実に算定できるようにする。
 - ・予防の観点からも早期からの利用の促進を図る→ケアマネへの働きかけ。
 - ・24時間、対応できる体制があることや重症者の受け入れを積極的に行い、医療介護のケアマネジメント機能を発揮、地域全体の在宅療養生活の環境整備に貢献していく。
 - ・精神科訪問看護の利用者の確保及び増加
 - ・理学療法士によるリハビリの援助の拡充を図っていく
 - ・保険以外の自費サービスへの対応の強化も図る
 - ・各事業所への看護師の派遣、加算算定のために職員の能力向上に努める。

聖アンナ訪問看護ステーション実績報告書 R5年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	74	75	75	80	73	71	68	67	70	70	73	82	878
(男)	29	28	26	29	25	23	24	25	27	27	28	31	322
(女)	45	47	49	51	48	48	44	42	43	43	45	51	556
新規利用者	9	9	5	6	2	3	3	5	4	6	12	10	74
再開	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
死亡	4	3	3	2	3	7	2	1	3	6	0	5	39
中止	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	1	6
医療保険(人数)	23	24	25	31	29	26	20	20	20	23	25	28	294
(回数)	358	359	438	489	436	433	335	342	389	427	447	529	4982
介護保険(人数)	52	53	54	57	50	48	48	49	51	52	50	60	624
(回数)	365	429	424	433	421	364	380	402	406	390	411	199	4624
保険外自費(人数)	1	1	1	0	0	2	2	1	1	1	2	1	13
(回数)	5	5	3	0	0	2	6	4	4	4	6	7	46
延べ訪問回数	728	793	865	922	436	435	341	346	393	431	453	536	6679

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	29	28	26	29	25	23	24	25	27	27	28	31	322
平均年齢	83	83	82	81	80	80	76	79	79	80	82	83	81
外	6	8	7	7	7	7	6	6	6	6	6	8	80
西山	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2	2	7
長山	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	0	18
長原	4	4	4	4	4	3	3	3	4	4	4	4	45
鳥居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岸宮	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	2	15
前田	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
神戸	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	10
国主	3	2	2	2	0	0	1	1	1	1	0	0	13
上野山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
尼寺	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1	7
高尾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	13
岸小野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
井ノ口	2	3	2	4	4	4	4	6	5	6	6	6	52
丸洒	3	3	4	4	4	3	4	4	5	5	5	5	49
北山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
介護1	3	3	3	4	3	3	3	3	4	4	3	4	40
介護2	5	2	3	2	2	1	1	2	3	2	2	2	27
介護3	4	3	3	3	3	2	2	2	3	2	3	3	33
介護4	4	4	3	3	2	2	2	3	3	3	3	4	36
介護5	5	7	6	7	6	6	6	6	6	8	7	7	77
医療	12	12	11	12	11	9	10	10	9	11	10	13	130
支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	17
保険外	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

令和5年度 事業報告書

デイサービスセンターたかお

令和5年度デイサービスセンターたかお事業報告書

1. 5年度目標額：63,600,000円

2. 5年度売上額：56,416,438円

3. 達成率89.0%

4. 目標不達成について

- ・新型コロナ感染予防にて利用中止の利用者が増加。
- ・冬季にかけて、入院、入所、長欠、死亡者が増加。
- ・新規利用者が少なかった。(コロナの影響及び各居宅事業所の依頼減少)

5. 事業計画の実施について

1、通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス

2、年末年始を除く月曜日から土曜日、祝祭日の事業の実施。

3、介護支援専門員の作成する居宅サービス計画を基に、利用者一人ひとりの身体的・精神的状況やニーズを把握し、当事業所にて通所介護計画書を作成し、そのサービスを提供することが出来た。

4、常日ごろから利用者家族と積極的にコミュニケーションをとる事により、信頼関係を築き、お互いに協力し合える環境作りができた。

5、日々のレクリエーションの中で個々の利用者の状況や好みに応じた選択メニューを作り参加して頂く。又、今年5月8日より新型コロナウイルスが5類に移行した為、外出行事も徐々に実施しました。

6、新型コロナウイルスが5類に移行した為、感染対策は継続したが、アクリル板の撤去、カラオケ行事の全面実施、外出行事の実施など感染予防対策をしながら行った。

(デイサービスセンターたかお)

令和5年度 通所介護事業（要介護Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ）集計 令和5年4月1日～令和6年3月31日迄

区分	実利用 人数	延利用 人数	利用 延合計	利用人員（月間）				一日当り 平均人数
				基本事業	入浴	食事	実施 日数	
4月	47	464	784	464	320	464	25	18.5
5月	48	518	874	518	356	518	27	19.1
6月	47	506	839	506	333	506	26	19.4
7月	44	481	810	481	329	481	26	18.5
8月	42	455	755	455	300	455	27	16.8
9月	42	464	771	464	307	464	26	17.8
10月	42	450	761	450	311	450	26	17.3
11月	43	460	778	460	318	460	26	17.6
12月	43	478	838	478	360	478	25	19.1
1月	43	437	762	437	329	433	24	18.2
2月	41	446	762	446	320	442	25	17.8
3月	41	430	752	430	326	426	26	16.5
合計	523	5589	9486	5589	3909	5759	309	18.0

(デイサービスセンターたかお)
 令和5年度 介護予防通所介護相当サービス事業 (事業対象者・要支援1・2)
 令和5年4月1日～令和6年3月31日迄

区 分	実利用 人数	延利用 人数	利用 延合計	利用人員 (月 間)				一日当り 平均人数
				基本事業	食 事	実 施 日 数	一 日 当 り 平 均 人 数	
4月	10	61	61	61	61	25	2.4	
5月	12	73	73	73	73	27	2.7	
6月	10	76	76	76	76	26	2.9	
7月	10	70	70	70	70	26	2.6	
8月	10	63	63	63	63	27	2.3	
9月	9	65	65	65	65	26	2.5	
10月	9	67	67	67	67	26	2.5	
11月	11	77	77	77	77	26	2.9	
12月	10	74	74	74	74	25	2.9	
1月	11	73	73	73	73	24	2.0	
2月	10	72	72	72	72	25	2.8	
3月	10	75	75	75	75	26	2.8	
合 計	122	846	846	846	846	309	2.6	

令和5年度 事業報告書

在宅介護支援センター

令和5年度 在宅支援センター 事業報告書

1 実施事業（4事業）

- ・紀の川市受託事業 外出支援サービス事業
- ・紀の川市受託事業 高齢者見守り事業
- ・紀の川市受託事業 集い場づくり事業
- ・法人独自事業 高齢者入退院事業

2 事業実施について

- ・外出支援サービス事業

年間サービス提供件数 96 件

紀の川市 ¥264,600 円 利用者様負担分 ¥29,400 円 合計 ¥294,000 円

- ・高齢者見守り事業

年間サービス提供数 48 件

紀の川市 ¥9,600 円

- ・集い場づくり事業「いこいカフェ」

年間開催回数 12 回

紀の川市 ¥120,000 円 参加者負担分 ¥16,000 円

3 事業実施について

外出支援サービスと高齢者入退院事業は、特養やデイサービスの車両利用時間とも重なってくるので送迎人員と車両の確保に苦労した。高齢者見守り事業については、問題なく実施することができた。集い場づくり事業は、新型コロナウイルス感染症も落ち着いたので月に一度定期的に開催することができた。

4 今後について

法人のマンパワー不足や送迎車両確保の問題から、令和6年度からは外出支援サービス及び高齢者入退院事業は見合わせることにする。

高齢者見守り事業と集い場づくり事業は継続して実施し、地域福祉の向上に寄与したいと考えています。

令和5年度 事業報告書

特別養護老人ホームきしがわ園

令和5年度 地域密着特別養護老人ホームきしがわ園 事業報告書

1. 令和5年度目標額 83,500,000 円
2. 令和5年度達成額 80,932,341 円
3. 目標額に対しての達成率 96.9%

4. 目標未達成について

今年度は利用日数7,320床で内、空床は226床となっている、短期入所生活介護の空床利用は内115床となっている。計画での平均介護度4.2であったが、実績では4.1であった。平均介護度については、一昨年より上昇傾向にあり、施設の重度化がうかがえる。空床について前年度は363床であったが、令和5年度は331床と減少した。

内訳として入院による空床が64床（前年度129床）、退所後の入所までの空床が162床（前年度192床）であった。今年度の入所者は8名（前年度8名）となっている。稼働率が達成出来なかった要因として、入居者の重度化に伴う入院や退所の増加が挙げられる。また短期入所の定員削減に伴い、新規申込者の減少がみられた。空床利用については、介護度変更までの期間のショートステイ利用等を活用し長期間の空床に対応できた。

今後については、高齢者住宅・有料老人ホーム等の増加に伴い、新規申込が減少している為、各地の病院や地域包括とも連携し入退院支援をよりスムーズに行う事や、一般の人に対する宣伝（地域に特養がある事、認知症や病气等で介護が必要になった場合に特養が利用できる事）が必要と考える。

新年度も待機者がスムーズに入居できる様に退所者の的確な状況把握と事前に家族・ケアマネとのコミュニケーションを密にし、調整を図る。稼働率を上げる取り組みを継続し、待機者の確保のため居宅介護支援事業・病院への周知により、ショート・施設共に満床利用を心掛け、目標達成を目指したいと考える。

5. 事業計画の実施について

サービス内容

- ① 食事については入居者の栄養状態を適切にアセスメントし、その状態に応じて栄養ケアマネジメントが行われ、嗜好・形態を考慮した食事を提供できた。管理栄養士と多職種による栄養強化体制を構築し、口から食べるケアについて力を入れて実施できている。
- ② 入浴については入居者の身体の清潔保持とともに精神的にリラックスできる時間を過ごして頂けるよう、安全かつ快適な入浴し、体調不良等で入浴できない方の場合は日程変更等して実施を行った。
- ③ レクリエーション、行事についてはコロナ後も十分には実施出来ていない。また、外出行事等については前年度に引き続きコロナ禍のために実施できなかった。今後は様子を見ながら実施予定。
- ④ 介護計画書については入居者個人の介護計画書に沿ったサービスの提供を行い、多職種協働で介護計画書の作成・見直しを行った。
- ⑤ 緊急時の対応について看護職員、嘱託医師との連携、家族への連絡体制確保により急変時に救急搬送を速やかに行う事ができた。

6. 家族との連携

入所時の契約には重要事項説明書等を用いて説明を十分に行い、事故発生のリスクとその対応についても十分に説明を行い、同意を得て契約を行った。

面会制限を段階的に緩和し、予約制での直接面会の再開等で家族様と直接のやり取りも増えた。直接・間接のやり取りを活用し、家族様と職員との連携を強く出来るように調整できた。

7. 虐待防止

施設内で全介護職員を対象に、身体拘束・高齢者虐待防止のビデオ研修や教育を実施した。法制度・介護技術・認知症への理解、職員のストレス対策、虐待事案が発生した場合の迅速な報告体制の整備と改善策の実施などに取り組んでいる。

8. 苦情処理

苦情相談窓口の設置により苦情に対しての対応を円滑・円満に行う事ができ、苦情の解決、再発の防止に努めた。

9. リスクマネジメント

緊急事態発生時は入居者の家族、市町村に迅速に連絡を行うとともに、事故後はその入居者、家族に対して職員一同誠意を持って対応し、事故原因の究明と再発防止策を早急に検討、実施、事故防止、安全・リスク委員会を活用し、改善策の周知徹底を図る体制を整備した。

大きな事故を予防するために、ヒヤリハットの分析を中心とした事故対策委員会を毎月開催し、事故の予防に努めた。

10. 職員の資質向上

職員の積極的な内部研修や外部研修（コロナ禍のため、オンラインによる研修に参加）の参加を図る事により、常に新しい情報や介護技術を習得し、職員の資質向上に努め、施設全体の介護サービスの質の向上に努めた。

11. 法令順守の徹底

権利擁護・人権研修の実施により、一人ひとりの意識にコンプライアンス精神や倫理を根付かせ、基本的人権を尊重し尊厳あるケアを目指すことに努めた。

12. 地域との連携・交流

コロナ後少しずつ地域との連携・交流を再開している。実習生・職場体験の受け入れ、障害福祉サービスとの協業等少しずつ実施している。

13. 運営推進会議の開催

令和5年度はコロナ後に伴い、運営推進会議を再開した。それに伴い2ヶ月に一回、きしがわ園にて現状報告や、地域の人や公的機関との意見交換を行い、必要な要望・助言等を頂けるように努めた。

今後も入居者、家族との信頼関係の構築に努め、かつ職員の質の向上、個人を尊重した介護の統一により、入居者が安心して楽しく生活してもらえるよう努めたい。

要介護度別平均年齢

令和 5年度

適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
適	非該当	男														
		女														
		平均														
適	事業対象者	男														
		女														
		平均														
適	要支援 1	男														
		女														
		平均														
適	要支援 2	男														
		女														
		平均														
適	経過的要介護	男														
		女														
		平均														
適	要介護 1	男														
		女														
		平均														
適	要介護 2	男														
		女														
		平均														
適	要介護 3	男	74.83	74.92	75.00	79.13	79.21	79.29	79.38	80.83	82.17	82.25	82.33	82.42	80.34	
		女	89.47	93.39	91.69	91.77	93.64	93.72	93.72	93.08	93.17	93.25	94.47	94.56	94.64	93.01
		平均	85.81	88.77	88.35	87.56	87.87	87.95	88.51	88.51	87.88	88.50	88.36	88.44	88.53	88.09
適	要介護 4	男	85.58	85.67	84.19	88.47	84.08	84.17	84.25	84.33	82.54	82.63	82.71	82.79	84.59	
		女	93.60	93.69	93.77	93.85	93.94	94.67	94.75	94.75	94.83	94.92	94.15	94.24	94.75	
		平均	89.59	89.68	88.98	91.55	90.65	91.67	91.75	91.75	91.83	91.38	91.27	91.35	91.33	90.88
適	要介護 5	男	83.92	84.00	84.08	77.92	78.00	72.79	72.88	72.96	72.08	72.17			76.36	
		女	84.53	84.61	84.69	84.78	85.10	82.40	80.80	80.88	80.97	81.05	82.85	82.93	83.11	
		平均	84.44	84.52	84.61	83.06	83.52	80.00	78.54	78.54	78.62	79.49	79.57	82.85	82.93	81.91
	総合計(人)	男	83.51	83.60	82.64	82.79	80.43	78.75	78.83	79.58	80.61	80.69	82.48	82.57	81.34	
		女	88.46	89.43	89.29	89.37	89.45	89.21	89.29	89.29	89.38	89.46	89.54	89.74	89.66	
		平均	86.90	87.59	87.29	87.17	86.75	86.07	86.15	86.15	86.11	86.80	86.89	87.93	87.79	86.95

(注1) 各月の平均年齢は、各月末時点の年齢より算出しています。(注2) 小数点以下第3位を四捨五入しています。

年間要介護度別利用日数

令和 5年度

適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
適	非該当	男														
		女														
		合計														
適	事業対象者	男														
		女														
		合計														
適	要支援 1	男														
		女														
		合計														
適	要支援 2	男														
		女														
		合計														
適	経過的要介護	男														
		女														
		合計														
適	要介護 1	男														
		女														
		合計														
適	要介護 2	男														
		女														
		合計														
適	要介護 3	男	30	31	30	57	62	60	62	84	93	93	87	93	782	
		女	85	86	102	124	93	90	124	124	120	124	93	87	93	1221
		合計	115	117	132	181	155	150	186	204	204	217	186	174	186	2003
適	要介護 4	男	120	114	120	63	62	60	62	60	62	62	62	58	62	905
		女	120	124	120	124	124	150	155	155	150	155	186	149	155	1712
		合計	240	238	240	187	186	210	217	217	210	217	248	207	217	2617
適	要介護 5	男	30	31	30	62	41	50	62	31	31	17				385
		女	180	186	180	186	210	180	180	155	150	155	155	166	186	2089
		合計	210	217	210	248	251	230	217	217	181	186	172	166	186	2474
適	総合計(日)	男	180	176	180	182	165	170	186	186	175	186	172	145	155	2072
		女	385	396	402	434	427	420	434	434	420	434	434	402	434	5022
		合計	565	572	582	616	592	590	620	620	595	620	606	547	589	7094

(注1) 該当月末日時点の有効な要介護度より算出しています。(注2) 退所日は日数には含まれません。

要介護度別利用者数 (スケジュール)

令和 5年度 実人数

適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
適	非該当	男														
		女														
		合計														
適	事業対象者	男														
		女														
		合計														
適	要支援 1	男														
		女														
		合計														
適	要支援 2	男														
		女														
		合計														
適	経過的要介護	男														
		女														
		合計														
適	要介護 1	男														
		女														
		合計														
適	要介護 2	男														
		女														
		合計														
適	要介護 3	男	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	3	26	
		女	3	3	4	4	3	3	4	4	4	4	3	3	3	41
		合計	4	4	5	6	5	5	6	6	7	7	6	6	6	67
適	要介護 4	男	4	4	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	31	
		女	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	6	6	5	57
		合計	8	8	8	7	6	7	7	7	7	7	8	8	7	88
適	要介護 5	男	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1		15	
		女	6	6	6	6	7	6	5	5	5	5	5	6	6	69
		合計	7	7	7	8	9	8	7	7	7	7	6	6	6	84
適	総合計(人)	男	6	6	6	7	6	6	6	6	6	6	6	5	72	
		女	13	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	15	14	167
		合計	19	19	20	21	20	20	20	20	21	20	20	20	19	239

(注 1) 該当月末日時点で有効な要介護度より算出しています。

利用者平均要介護度

令和 5年度

適	項目	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
適	平均要介護度	男	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	3.7	3.7	3.4	3.4	3.8	
		女	4.2	4.2	4.1	4.1	4.3	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
		平均	4.2	4.2	4.1	4.1	4.2	4.2	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1

(注1) 該当月末日時点の有効な要介護度より算出しています。(注2) 小数点以下第2位を四捨五入して入しています。

平均在所期間

	地域密着特別 養護老人ホ一	(未設定)	(合計)
男	1年 10ヶ月		1年 10ヶ月
女	3年 4ヶ月		3年 4ヶ月
(未設定)			
(合計)	2年 11ヶ月		2年 11ヶ月

令和5年度 事業報告書

地域密着特別養護老人ホームきしがわ園

令和5年度 地域密着特別養護老人ホームきしがわ園 事業報告書

1. 令和5年度目標額 83,500,000 円
2. 令和5年度達成額 80,932,341 円
3. 目標額に対しての達成率 96.9%

4. 目標未達成について

今年度は利用日数7,320床で内、空床は226床となっている、短期入所生活介護の空床利用は内115床となっている。
計画での平均介護度4.2であったが、実績では4.1であった。平均介護度については、一昨年より上昇傾向にあり、施設の重度化がうかがえる。空床について前年度は363床であったが、令和5年度は331床と減少した。

内訳として入院による空床が64床（前年度129床）、退所後の入所までの空床が162床（前年度192床）であった。今年度の入所者は8名（前年度8名）となっている。稼働率が達成出来なかった要因として、入居者の重度化に伴う入院や退所の増加が挙げられる。
また短期入所の定員削減に伴い、新規申込者の減少がみられた。空床利用については、介護度変更までの期間のショートステイ利用等を活用し長期間の空床に対応できた。

今後については、高齢者住宅・有料老人ホーム等の増加に伴い、新規申込が減少している為、各地の病院や地域包括とも連携し入退院支援をよりスムーズに行う事や、一般の人に対する宣伝（地域に特養がある事、認知症や病气等で介護が必要になった場合に特養が利用できる事）が必要と考える。

新年度も待機者がスムーズに入居できる様に退所者の的確な状況把握と事前に家族・ケアマネとのコミュニケーションを密にし、調整を図る。稼働率を上げる取り組みを継続し、待機者の確保のため居宅介護支援事業・病院への周知により、ショート・施設共に満床利用を心掛け、目標達成を目指したいと考える。

5. 事業計画の実施について

サービス内容

- ① 食事については入居者の栄養状態を適切にアセスメントし、その状態に応じて栄養ケアマネジメントが行われ、嗜好・形態を考慮した食事を提供できた。管理栄養士と多職種による栄養強化体制を構築し、口から食べるケアについて力を入れて実施できている。
- ② 入浴については入居者の身体の清潔保持とともに精神的にリラックスできる時間を過ごして頂けるよう、安全かつ快適な入浴し、体調不良等で入浴できない方の場合は日程変更等して実施を行った。
- ③ レクリエーション、行事についてはコロナ後も十分には実施出来ていない。また、外出行事等については前年度に引き続きコロナ禍のために実施できなかった。今後は様子を見ながら実施予定。
- ④ 介護計画書については入居者個人の介護計画書に沿ったサービスの提供を行い、多職種協働で介護計画書の作成・見直しを行った。
- ⑤ 緊急時の対応について看護職員、嘱託医師との連携、家族への連絡体制確保により急変時に救急搬送を速やかに行う事ができた。

6. 家族との連携

入所時の契約には重要事項説明書等を用いて説明を十分に行い、事故発生のリスクとその対応についても十分に説明を行い、同意を得て契約を行った。

面会制限を段階的に緩和し、予約制での直接面会の再開等で家族様と直接のやり取りも増えた。直接・間接のやり取りを活用し、家族様と職員との連携を強く出来るように調整できた。

7. 虐待防止

施設内で全介護職員を対象に、身体拘束・高齢者虐待防止のビデオ研修や教育を実施した。法制度・介護技術・認知症への理解、職員のストレス対策、虐待事案が発生した場合の迅速な報告体制の整備と改善策の実施などに取り組んでいる。

8. 苦情処理

苦情相談窓口の設置により苦情に対しての対応を円滑・円満に行う事ができ、苦情の解決、再発の防止に努めた。

9. リスクマネジメント

緊急事態発生時は入居者の家族、市町村に迅速に連絡を行うとともに、事故後はその入居者、家族に対して職員一同誠意を持って対応し、事故原因の究明と再発防止策を早急に検討、実施、事故防止、安全・リスク委員会を活用し、改善策の周知徹底を図る体制を整備した。

大きな事故を予防するために、ヒヤリハットの分析を中心とした事故対策委員会を毎月開催し、事故の予防に努めた。

10. 職員の資質向上

職員の積極的な内部研修や外部研修（コロナ禍のため、オンラインによる研修に参加）の参加を図る事により、常に新しい情報や介護技術を習得し、職員の資質向上に努め、施設全体の介護サービスの質の向上に努めた。

11. 法令順守の徹底

権利擁護・人権研修の実施により、一人ひとりの意識にコンプライアンス精神や倫理を根付かせ、基本的人権を尊重し尊厳あるケアを目指すことに努めた。

12. 地域との連携・交流

コロナ後少しずつ地域との連携・交流を再開している。実習生・職場体験の受け入れ、障害福祉サービスとの協業等少しずつ実施している。

13. 運営推進会議の開催

令和5年度はコロナ後に伴い、運営推進会議を再開した。それに伴い2ヶ月に一回、きしがわ園にて現状報告や、地域の人や公的機関との意見交換を行い、必要な要望・助言等を頂けるように努めた。

今後も入居者、家族との信頼関係の構築に努め、かつ職員の質の向上、個人を尊重した介護の統一により、入居者が安心して楽しく生活してもらえるよう努めたい。

要介護度別平均年齢

令和 5年度

適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
適	非該当	男														
		女														
		平均														
適	事業対象者	男														
		女														
		平均														
適	要支援 1	男														
		女														
		平均														
適	要支援 2	男														
		女														
		平均														
適	経過的要介護	男														
		女														
		平均														
適	要介護 1	男														
		女														
		平均														
適	要介護 2	男														
		女														
		平均														
適	要介護 3	男	74.83	74.92	75.00	79.13	79.21	79.29	79.38	80.83	82.17	82.25	82.33	82.42	80.34	
		女	89.47	93.39	91.69	91.77	93.64	93.72	93.72	93.08	93.17	93.25	94.47	94.56	94.64	93.01
		平均	85.81	88.77	88.35	87.56	87.87	87.95	88.51	88.51	87.88	88.50	88.36	88.44	88.53	88.09
適	要介護 4	男	85.58	85.67	84.19	88.47	84.08	84.17	84.25	84.33	82.54	82.63	82.71	82.79	84.59	
		女	93.60	93.69	93.77	93.85	93.94	94.67	94.75	94.75	94.83	94.92	94.15	94.24	94.75	
		平均	89.59	89.68	88.98	91.55	90.65	91.67	91.75	91.75	91.83	91.38	91.27	91.35	91.33	90.88
適	要介護 5	男	83.92	84.00	84.08	77.92	78.00	72.79	72.88	72.96	72.08	72.17			76.36	
		女	84.53	84.61	84.69	84.78	85.10	82.40	80.80	80.88	80.97	81.05	82.85	82.93	83.11	
		平均	84.44	84.52	84.61	83.06	83.52	80.00	78.54	78.62	79.49	79.57	82.85	82.93	81.91	
	総合計(人)	男	83.51	83.60	82.64	82.79	80.43	78.75	78.83	79.58	80.61	80.69	82.48	82.57	81.34	
		女	88.46	89.43	89.29	89.37	89.45	89.21	89.29	89.29	89.38	89.46	89.54	89.74	89.66	
		平均	86.90	87.59	87.29	87.17	86.75	86.07	86.15	86.15	86.11	86.80	86.89	87.93	87.79	86.95

(注1) 各月の平均年齢は、各月末時点の年齢より算出しています。(注2) 小数点以下第3位を四捨五入しています。

年間要介護度別利用日数

令和 5年度

適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
適	非該当	男														
		女														
		合計														
適	事業対象者	男														
		女														
		合計														
適	要支援 1	男														
		女														
		合計														
適	要支援 2	男														
		女														
		合計														
適	経過的要介護	男														
		女														
		合計														
適	要介護 1	男														
		女														
		合計														
適	要介護 2	男														
		女														
		合計														
適	要介護 3	男	30	31	30	57	62	60	62	84	93	93	87	93	782	
		女	85	86	102	124	93	90	124	124	120	124	93	87	93	1221
		合計	115	117	132	181	155	150	186	217	204	217	186	174	186	2003
適	要介護 4	男	120	114	120	63	62	60	62	60	62	62	62	58	62	905
		女	120	124	120	124	124	150	155	155	150	155	186	149	155	1712
		合計	240	238	240	187	186	210	217	217	210	217	248	207	217	2617
適	要介護 5	男	30	31	30	62	41	50	62	31	31	17				385
		女	180	186	180	186	210	180	180	155	150	155	155	166	186	2089
		合計	210	217	210	248	251	230	217	217	181	186	172	166	186	2474
適	総合計(日)	男	180	176	180	182	165	170	186	186	175	186	172	145	155	2072
		女	385	396	402	434	427	420	434	434	420	434	434	402	434	5022
		合計	565	572	582	616	592	590	620	620	595	620	606	547	589	7094

(注1) 該当月末日時点より算出しています。(注2) 退所日は日数には含みません。

要介護度別利用者数 (スケジュール)

令和 5年度 実人数

適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
適	非該当	男														
		女														
		合計														
適	事業対象者	男														
		女														
		合計														
適	要支援 1	男														
		女														
		合計														
適	要支援 2	男														
		女														
		合計														
適	経過的要介護	男														
		女														
		合計														
適	要介護 1	男														
		女														
		合計														
適	要介護 2	男														
		女														
		合計														
適	要介護 3	男	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	3	26	
		女	3	3	4	4	3	3	4	4	4	4	3	3	3	41
		合計	4	4	5	6	5	5	6	6	7	7	6	6	6	67
適	要介護 4	男	4	4	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	31	
		女	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	6	6	5	57
		合計	8	8	8	7	6	7	7	7	7	7	8	8	7	88
適	要介護 5	男	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1		15	
		女	6	6	6	6	7	6	5	5	5	5	5	6	6	69
		合計	7	7	7	8	9	8	7	7	7	7	6	6	6	84
適	総合計(人)	男	6	6	6	7	6	6	6	6	7	6	6	5	72	
		女	13	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	15	14	167
		合計	19	19	20	21	20	20	20	20	21	20	20	20	19	239

(注 1) 該当月末日時点で有効な要介護度より算出しています。

利用者平均要介護度

令和 5年度

適	項目	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
適	平均要介護度	男	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	3.7	3.7	3.4	3.4	3.8	
		女	4.2	4.2	4.1	4.1	4.3	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
		平均	4.2	4.2	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1

(注1) 該当月末日時点の有効な要介護度より算出しています。(注2) 小数点以下第2位を四捨五入して入しています。

平均在所期間

	地域密着特別 養護老人ホ一	(未設定)	(合計)
男	1年 10ヶ月		1年 10ヶ月
女	3年 4ヶ月		3年 4ヶ月
(未設定)			
(合計)	2年 11ヶ月		2年 11ヶ月

令和5年度 事業報告書

きしがわ園ショートステイサービス
第2 きしがわ園ショートステイサービス

令和5年度 きしがわ園ショートステイサービス 事業報告書

1. 令和5年度目標額 77,520,000 円

令和5年度達成額 51,470,903 円

66.4%

2. 目標未達成について

令和5年8月より、介護職員の人員不足によりショートステイを10床縮小することとなり、利用者の受け入れを減少せざるを得ない状況となった。

ショートステイ縮小後、ロング利用者を優先的に受け入れし一日の平均利用数を一定数獲得することで、まず空床を減らし稼働数を安定させることを目標とした。

ロング利用者を獲得する事で、当施設の入所への移行もスムーズに対応できたと考える。

その中でも、新規利用者獲得の為、居宅介護支援事業所や病院との連携を密に行い情報共有を行った。空床利用や、緊急ショートを受け入れなども出来る限り調整、対応し限られた中で利用者獲得に努めた。

8月以降緊急ショートを受け入れ8件、新規利用者数15件獲得している。

令和6年度のショートステイ再開に向け、引き続いて地域のショートステイのニーズを満たせるように受け入れ対応していく。

また、生産性向上に努め職員が働きやすい環境作りも並行して進めていく。

3. 事業計画の実施について

(1) 食事サービス

委託業者と月1回の給食会議の中で、意見を出し合い、情報共有を行うことで、嗜好・形態を考慮した食事を提供できた。

管理栄養士との連携により、利用者の健康状態に応じた食事形態を提案、小まめに調整することが出来、一人一人に合わせた栄養ケア、食事面でのマネジメントが行えていると考える。

(2) 家族との連携

電話連絡やLINE等のSNSの活用、入退所の送迎時に直接家族に会い、利用中の様子や体調面を細かく伝えることで、安心感を持って頂けるよう心掛けた。

また、家族が感じている疑問や不安な部分を聞き取り、利用者だけでなく家族にも寄り添ったケアを目指し、信頼関係を築いていけるよう努めた。

- (3) 機関・他事業所との連携
地域包括支援センター・居宅介護支援事業所のケアマネ等からの相談に対して迅速かつ丁寧に対応し、利用者のショート利用に繋げることができた。
居宅介護支援事業所へは電話にてこまめな情報共有、担当者会議開催時に状況を詳しく説明し、より良い連携が取れたと考える。
新規利用者獲得に向け、今後も引き続いて密な連携が必要であると考えており、今後は事業所への訪問を行うなどより一層の信頼関係の構築と連携を行っていく。
- (4) 身体拘束ゼロ
施設内で全介護職員を対象に、身体拘束・高齢者虐待防止のビデオ研修や教育を実施し、身体・心理的拘束を行わない為の取り組みを行った。
引き続き、定期的な研修やミーティングでの周知徹底、職員に対するストレス対策を行い身体拘束ゼロを目指していく。
- (5) 苦情処理
利用者に対するケアについて数件苦情があった。
その苦情に対し、介護主任、副主任を中心に情報共有、フィードバックを行いケア方法の検討や改善対策を全体で話し合った。
その上で家族様や担当ケアマネージャーへ状況と対策、再発防止の為の改善案などの説明を行った。
介護職員に対しては、苦情に対する問題点を書面化し提示、再発防止の改善策を周知、定期的に再検討の場を設け再発予防に努めている。
日頃から利用者、家族、担当ケアマネージャーとの連携を密に取り、細かな問題要素を汲み取ること、事前に対応策や予防策を検討していく必要があると感じた。
- (6) リスクマネジメント
事業所内で起こりうる利用者の事故等を未然に防ぐために、事故防止委員会を設置し、定期的な委員会を開催し、委員会で出た案に基づいて事故報告書の検証を通してミーティングでの職員への共有化を図り、防止に取り組んだ。
- (7) 職員の資質向上
内部研修への積極的な参加により、介護技術の習得と職員の資質向上に努めた。
個人だけではなくミーティング時に各職員へ周知する事で連携と施設全体の介護サービスの質の向上を目指している。
今後の課題として、外部研修などにも積極的に参加し、今以上の介護技術向上を目的として取り組んで行く。
- (8) 法令順守、及び高齢者権利擁護、虐待防止の徹底
権利擁護・人権研修の実施により、職員の意識向上、コンプライアンス精神や倫理を根付かせ、基本的人権を尊重し尊厳あるケアを目指すことに努めている。

令和5年度 事業報告書

デイサービスセンターきしがわ園

令和5年度デイサービスセンターきしがわ園事業報告書

1. 5年度達成額：42,222,140円

2. 5年度目標額：53,195,400円

3. 達成率：79.4%

4. 目標未達成について

今年度に於きましては、順調に伸びていましたが、年度後半に顕著な利用人数の低迷となった。利用者様の身体機能低下により、自宅での転倒による長期入院や施設への入所、ショートステイ利用増が稼働率低下の要因であるために目標額を大幅に下回った。新規獲得については、徐々に回復傾向となっている。

5. 事業計画の実施について

- 1、 通所介護事業・介護予防通所介護事業・日中一時支援事業（障害サービス）。
- 2、 年末年始を除く月曜日から土曜日、祝日の事業の実施。
- 3、 介護支援専門員の作成する居宅サービス計画を基に、通所介護計画書及び通所介護予防計画書を作成し、利用者一人ひとりの身体状況・精神状況やニーズを把握した上で、そのサービスが適切かつ個別的に居宅サービス計画に沿ったサービス提供ができた。その結果、プロセス評価・結果評価ができ、見直しを行い再アセスメントができた。生活機能向上連携では、専門職の指導により行い評価に繋げた。
- 4、 利用者様のご家族にとっても心身のゆとりが持てる時間を提供でき、またご家族が安心して利用者様を当事業所に任せて頂けるよう、ご家族に対しても常日頃から積極的にコミュニケーションをとる事で、更に当事業所と利用者・ご家族様との良好な信頼関係を築き、お互い協力し合える環境を作るように努めた。
ご家族の急な利用日や時間変更にも迅速に対応した。
- 5、 利用者様のニーズに応じたレクリエーションを行い、音楽療法・介護体操・作業療法を加えることで自立支援に向けた。四季折々の行事など行い、他者との交流の場を提供することで気分転換して頂いた。
- 6、 利用者様の自立支援に向けて、利用者毎の困難な部分を把握して作業療法を実施し、職員による歩行訓練・集団体操を積極的に行うことができた。専門分野では、

貴志川リハビリテーション病院と連携をし生活機能連携向上加算も算定しており、理学療法士による機能訓練を行うことができた。

また、低栄養状態の改善に向け食事形態などの考慮など栄養士や職員、ケアマネジャーやご家族とも連携し栄養改善に努めています。利用者様一人ひとりに合った口腔ケアは実施できていますが、自宅でも適切な口腔ケアができるよう支援や指導を努めた。

7、 通所介護事業所の職員としての専門性を高める為、またより良いサービスを提供できるよう情勢に合わせ、外部のオンライン研修・内部研修に積極的に参加し、職員の資質向上に努めた。

8、 事故対応については迅速に対応し、事故を回避する為に報告書等を作成し、報告内容を基に職員間でPDCAサイクルを活用し、利用者様やご家族の信頼回復に努めた。危険予知トレーニングなどの勉強会内容の再確認を行い、リスクマネジメント「介護中に起こり得る事故をあらかじめ予測しておくことで、可能な限り未然に防ぐこと」の徹底に努めるようにした。

9、 デイサービスの今後の展開について

稼働率アップのためにも、多様なイベントを企画し、利用者様満足度の高い行事活動を心掛け、心身機能の維持向上を図り、組織内の連携及び業務内容の検討・見直しを行い、新規利用者の獲得にも努めていく。

ご利用者・ご家族とのコミュニケーションも大切にしていく。

年間行事表

デイサービスセンターきしがわ園

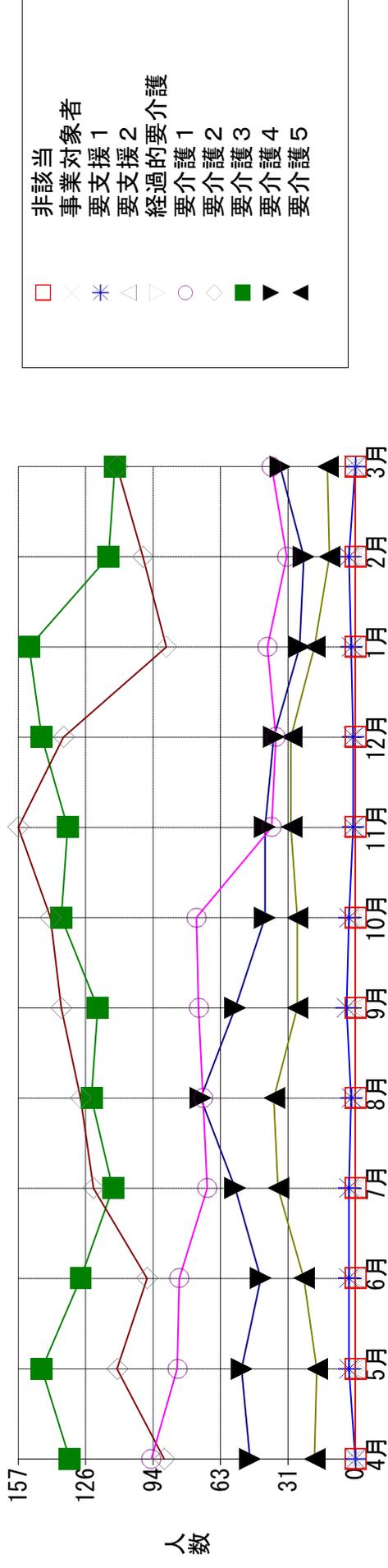
	行 事	場 所	実 施 日
4月	音楽療法	デイフロアー	1日(土) 5日(水)26日(水)
	10周年記念祭	デイフロアー	6日(木)7日(金)8日(土)
	書道デッサン	デイフロアー	20日(木)～22日(土)
	クラフト	デイフロアー	10日(月)～18日(火)
5月	書道デッサン	デイフロアー	8日(月)～13日(土)
	餅つき会	デイフロアー	18日(木)～20日(土)
	音楽療法	デイフロアー	29日(土)
	クラフト	デイフロアー	15日(月)～25日(木)
6月	ドライブ会	外出	1日(木)
	音楽療法	デイフロアー	3日(土)19日(月)29日(土)
	書道デッサン	デイフロアー	5日(月)～10日(土)
	クラフト	デイフロアー	12日(月)～17日(土)
7月	音楽療法	デイフロアー	1日(土)
	七夕まつり	デイフロアー	7日(金)
	クラフト	デイフロアー	24日(月)～29日(土)
	書道デッサン	デイフロアー	10日(月)～12日(水)
8月	ボードゲーム	デイフロアー	2日(水)10(木)17(木)28(月)
	書道デッサン	デイフロアー	7日(月)～9日(水)
	クラフト	デイフロアー	21日(月)～26日(土)
	音楽療法	デイフロアー	5日(土)19日(土)
	夏祭り	デイフロアー	30(水)31日(火)
9月	音楽療法	デイフロアー	2日(土)
	書道デッサン	デイフロアー	7日(木)～9日(土)
	クラフト	デイフロアー	19日(火)～25日(月)
	敬老会	デイフロアー	18日(月)
10月	書道デッサン	デイフロアー	5日(木)～7日(土)
	音楽療法	デイフロアー	3日(火)28日(土)
	ボードゲーム	デイフロアー	4日(水)14日(土)30日(月)
	クラフト	デイフロアー	16日(月)～21日(土)
	介護体操	デイフロアー	12日(木)
11月	ボードゲーム	デイフロアー	2日(木)3日(金)11日(土)
	運動会	デイフロアー	8日(水)9日(木)
	クラフト	デイフロアー	25日(土)～30日(木)
	書道デッサン	デイフロアー	16日(木)～18日(土)
	介護体操	デイフロアー	20日(月)
12月	音楽療法	デイフロアー	2日(土)
	書道デッサン	デイフロアー	6日(水)7日(木)
	忘年会	デイフロアー	14日(木)
	クリスマス会	デイフロアー	25日(月)
	年納(歌唱会)	デイフロアー	28日(木)29(金)
1月	お正月遊び	デイフロアー	4日(木)5日(金)6日(土)
	戎祭り	デイフロアー	9日(火)～11日(木)
	書道デッサン	デイフロアー	11日(木)12日(金)
	クラフト	デイフロアー	22日(月)～27日(土)
	新年会	デイフロアー	17日(水)
	リズム体操	デイフロアー	29日(月)
2月	節分(豆まき)	デイフロアー	2日(金)3日(土)
	書道デッサン	デイフロアー	8日(木)～10日(土)
	クラフト	デイフロアー	19日(月)～24日(土)
	脳トレ体操	デイフロアー	7日(水)
	ボードゲーム	デイフロアー	26日(月)～29日(木)
3月	書道デッサン	デイフロアー	6日(水)～8日(金)
	音楽療法	デイフロアー	9日(土)
	ボードゲーム	デイフロアー	11日(月)～16日(土)
	初午お菓子まき	デイフロアー	19日(火)20日(水)
	お花見ドライブ	外出	23日(土)28日(木)29日(金)

※毎月の行事

書道、デッサン、クラフト

要介護度別利用者数 (スケジュール)

令和 5年度 延人数

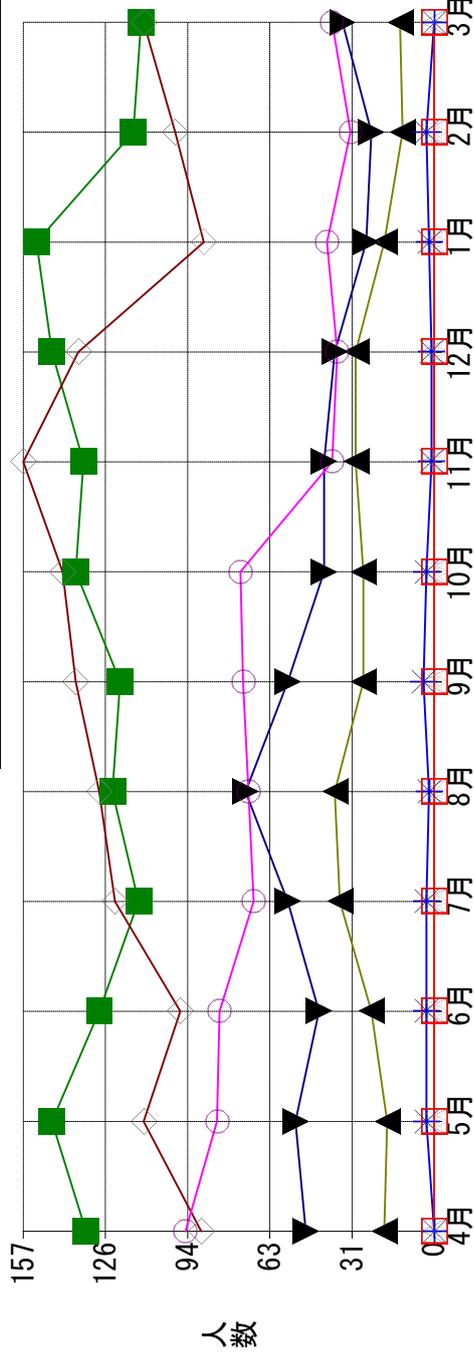


適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
適	非該当	男														
		女														
		合計														
適	事業対象者	男														
		女														
		合計														
適	要支援1	男		3	3	3	3	4	4	1	1	2	2	3	25	
		女		3	3	3	3	4	4	1	1	2	2	3	25	
		合計		6	6	6	7	8	8	2	2	4	4	6	50	
適	要支援2	男														
		女														
		合計														
適	経過的要介護	男														
		女														
		合計														
適	要介護1	男	48	48	48	48	36	34	39	17	17	12	8	13	360	
		女	47	35	34	34	33	37	34	34	22	20	29	24	26	375
		合計	95	83	82	82	69	71	73	74	39	37	41	32	39	735
適	要介護2	男	17	27	30	30	44	35	37	41	23	21	25	26	366	
		女	72	84	67	78	78	93	100	102	116	113	67	74	85	1051
		合計	89	111	97	122	122	128	137	142	157	136	88	99	111	1417

(注1) 該当月末日時点で有効な要介護度より算出しています。

要介護度別利用者数 (スケジュール)

令和 5年度 延人数



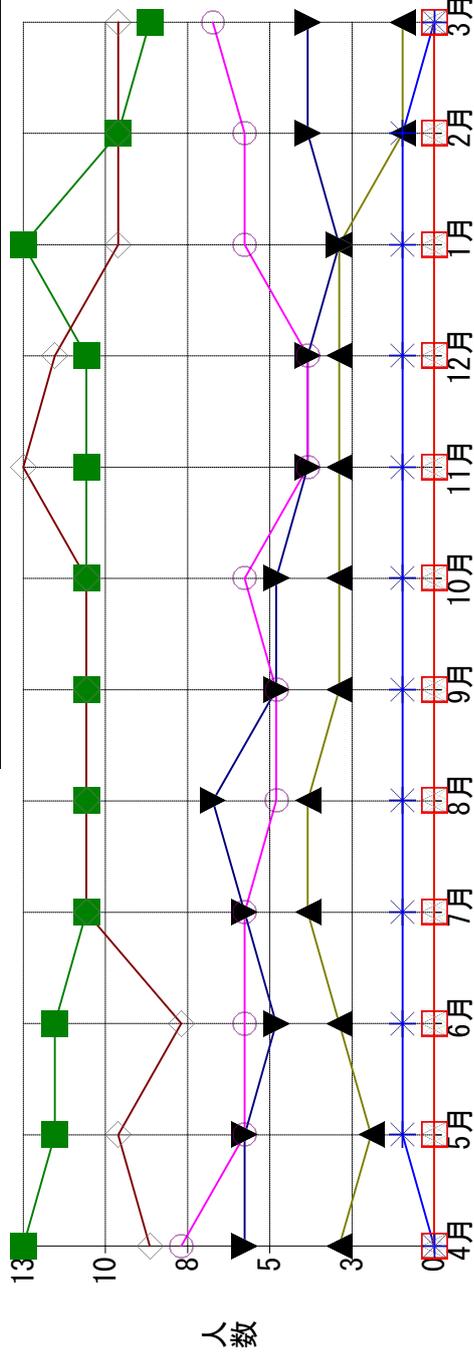
□ 非該当
× 事業対象者
* 要支援1
△ 要支援2
▽ 経過的要介護
○ 要介護1
◇ 要介護2
◇ 要介護3
■ 要介護4
▲ 要介護5

適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
適	要介護3	男	57	63	57	60	76	76	90	83	102	76	62	51	853	
		女	76	83	71	53	47	44	47	47	51	44	76	53	61	706
		合計	133	146	128	113	123	120	137	137	134	146	152	115	112	1559
適	要介護4	男	24	27	23	36	37	34	21	24	19	9	11	15	280	
		女	25	26	21	20	35	22	21	21	18	19	17	13	20	257
		合計	49	53	44	56	72	56	42	42	42	38	26	24	35	537
適	要介護5	男	15	14	19	24	24	23	23	25	26	18	12	12	236	
		女	4	4	5	12	14	4	4	4	5	4	1			57
		合計	19	18	24	36	38	27	27	27	30	30	19	12	13	293
総合計(人)	男	161	179	177	200	206	209	214	214	190	187	136	118	118	2095	
		女	224	235	201	199	228	208	211	211	213	201	192	167	192	2471
		合計	385	414	378	399	434	417	425	425	403	388	328	285	310	4566

(注1) 該当月末日時点で有効な要介護度より算出していきます。

要介護度別利用者数 (スケジュール)

令和 5年度 実人数

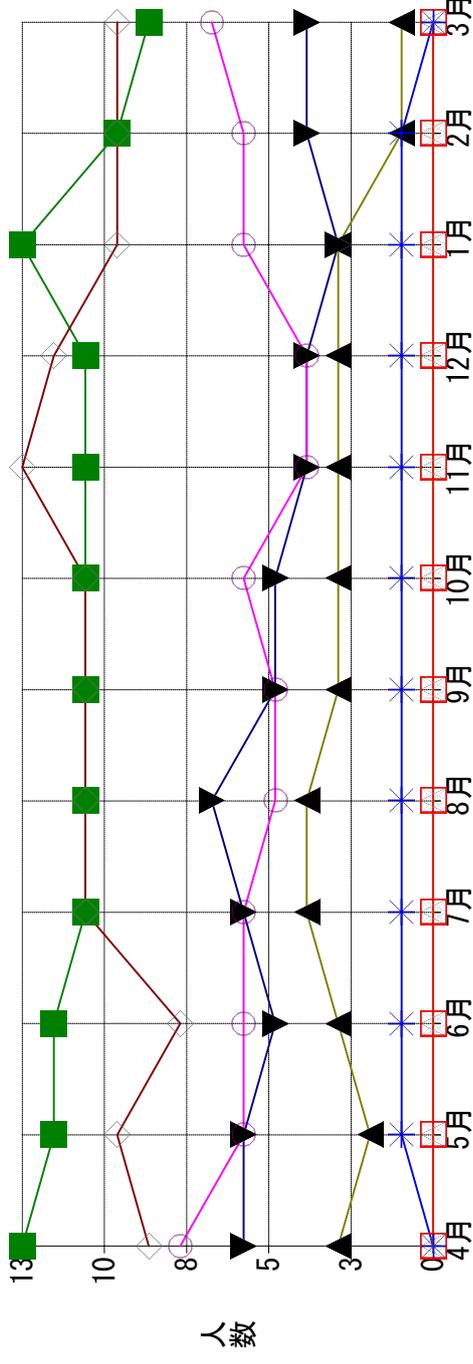


適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
適	非該当	男														
		女														
		合計														
適	事業対象者	男														
		女														
		合計														
適	要支援1	男		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	
		女		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		合計		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20
適	要支援2	男														
		女														
		合計														
適	経過的要介護	男														
		女														
		合計														
適	要介護1	男	4	3	3	3	3	2	2	3	2	1	1	1	27	
		女	4	3	3	3	3	3	3	2	3	2	5	5	6	42
		合計	8	6	6	6	6	5	5	4	4	4	6	6	7	69
適	要介護2	男	2	2	2	2	4	3	3	3	2	2	2	2	30	
		女	7	8	6	6	7	8	8	8	10	10	8	8	8	96
		合計	9	10	8	8	11	11	11	11	13	12	10	10	10	126

(注1) 該当月末日時点で有効な要介護度より算出しています。

要介護度別利用者数 (スケジュール)

令和 5年度 実人数



適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
適	要介護3	男	5	4	4	4	6	6	6	6	6	6	6	5	4	62	
		女	8	8	8	7	5	5	5	5	5	5	7	5	5	73	
		合計	13	12	12	11	11	11	11	11	11	11	13	10	9	135	
適	要介護4	男	4	4	3	5	5	4	4	3	3	2	2	3	3	43	
		女	2	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16
		合計	6	6	5	6	7	6	5	5	4	4	3	3	4	4	59
適	要介護5	男	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	21	
		女	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		合計	3	2	3	4	4	3	3	3	3	3	3	3	1	1	33
適	総合計(人)	男	17	14	14	18	18	17	18	16	15	15	13	12	11	183	
		女	22	23	21	21	21	19	19	19	20	20	23	20	20	20	249
		合計	39	37	35	39	39	36	36	37	36	35	36	32	31	432	

(注1) 該当月末日時点で有効な要介護度より算出しています。

利用者平均要介護度

令和 5年度

適	項目	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
適	平均要介護度	男	2.9	2.9	2.9	2.9	3.1	3.1	2.9	3.0	3.1	3.2	3.1	3.1	3.0
		女	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.3	2.3	2.3	2.3	2.2	2.0	2.0	2.3
		平均	2.7	2.6	2.7	2.7	2.8	2.7	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.4	2.4

(注1) 該当月末日時点の有効な要介護度より算出しています。(注2) 小数点以下第2位を四捨五入してしています。

利用者平均要介護度

令和 5年度

適	項目	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
適	平均要介護度	男														
		女		0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
		平均		0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4

(注1) 該当月末日時点の有効な要介護度より算出しています。(注2) 小数点以下第2位を四捨五入しています。